

|          |                                |      |                      |
|----------|--------------------------------|------|----------------------|
| 開講日      | 2011年秋期<br>火曜日 18:30-20:00     | 講義場所 | 研究棟11階講義室A、実習会場は後日連絡 |
| コーディネーター | 名古屋市立大学大学院医学研究科 ウイルス学 教授 田中 靖人 |      |                      |

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 科目概要および期待される成果 | 【概要】いったん臨床現場を離れた医師、臨床検査技師、看護師などを対象に各種検査の基本的な理解を深め、現場復帰を促すカリキュラムです。基礎コースからはじまり、それぞれの目的に即した応用コースを受講することにより、各種検査に関する専門的な知識のみならず、それぞれの検査の臨床的有用性を習得されたい。一部のコースでは、実習も行う予定でいます。<br>【期待される成果】実際の診断に役立つ各種検査に関する知識を得るために最低限必要な講義内容を厳選しており、実際の臨床の場ですぐに生かせるように、医療職及び医療に間接的に携わる方の復帰を支援します。 |
| 目標とする資格        |                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| サブカテゴリ    | No | タイトル                         | 講義概要                                                                                                          | 開講日    | 講師(所属)                                   |
|-----------|----|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------------------------------------------|
| 検査～基礎コース  | 1  | 腹部超音波検査の基本(実習)               | 腹部領域(肝、胆、膵、消化管など)の病変の有無を拾い上げる目的で、侵襲なくベッドサイドで行うことが可能な検査である。スクリーニング検査としてのテクニックを習得する。                            | 10月4日  | 教授 田中 靖人<br>名古屋市立大学大学院医学研究科 ウイルス学        |
|           | 2  | 呼吸器診療の入り口ー胸部X線               | 呼吸器疾患の発見動機は、咳や息切れなどの自覚症状の他に、しばしば胸部X線の異常陰影による。胸部X線写真には様々な陰影が写し出され、非常に情報が多い。異常陰影を見逃さないための基本的読影方法を解説する。          | 10月11日 | 病院講師 前野 健<br>名古屋市立大学大学院医学研究科 腫瘍・免疫内科学    |
|           | 3  | 心電図の読み方 これだけは見逃さない           | 心電図の有用性と限界について学習し、正常心電図を理解するとともに、専門医に紹介すべき心電図異常、治療を要する不整脈を判読できるようにする。                                         | 10月18日 | 准教授 土肥 靖明<br>名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学  |
|           | 4  | 知っておきたい検尿・尿沈渣データ～慢性腎臓病とは？    | 腎機能のみならず体内に過剰に産生された血中の物質も排泄され、病期の初期診断においては尿の定性検査及び尿沈渣は必須であり、その臨床的意義を学習する。また、最近注目されているCKD(慢性腎臓病)についても学習する。     | 10月25日 | 病院教授 吉田 篤博<br>名古屋市立大学病院 人工透析部            |
|           | 5  | 輸血・血液検査の基本(実習)               | 安全な輸血を行うための検査:血液型・交差適合試験を中心に学習し、その技術を習得する。                                                                    | 11月1日  | 副部長 石田 高司<br>係長 越知 則予<br>名古屋市立大学病院 輸血部   |
|           | 6  | 検体検査の基礎                      | 臨床検査データを判読する上で、知っておきたい基礎知識を学習する。検体の採血から取り扱いの注意点、検査値に影響を与える要因、主な検査項目の意義について解説する。                               | 11月8日  | 係長 五藤孝秋<br>名古屋市立大学病院 中央臨床検査部             |
| 検査～応用コースⅠ | 7  | X線CT検査の基本と応用                 | CTは連続する断面画像であり、単純X線写真と比較し、読影の難易度は決して高くはない。一方、画像再構成や表示条件に関する基本的知識なくしては、大きな落とし穴が存在する。今回はCT読影基本について臨床症例を交えて紹介する。 | 11月15日 | 病院教授 原 眞咲<br>名古屋市立大学病院 中央放射線部            |
|           | 8  | 微生物検査:グラム染色(実習)              | 検体採取からグラム染色、培養検査など臨床微生物検査の方法を解説し、実際の臨床診断に至る過程を学習する。特に、グラム染色の実技指導を行う。                                          | 11月22日 | 講師 立野 一郎<br>名古屋市立大学大学院医学研究科 細菌学          |
|           | 9  | 消化器診療の入り口ー消化管造影検査・読影         | バリウムなど造影剤を用いて食道・胃・十二指腸・大腸の病変を描出し、その良・悪性の鑑別、病型の決定、病変の範囲の決定、進捗度の推定などを実際の症例で解説する。                                | 11月29日 | 講師 神谷 武<br>名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学     |
|           | 10 | 内分泌検査(頸部の超音波検査、血糖自己測定)(一部実習) | 甲状腺、副甲状腺および頸動脈の正常像を理解する。甲状腺では結節性病変の鑑別診断、甲状腺機能亢進症や低下症の各疾患の特徴的所見、頸動脈では動脈硬化所見の把握を目的とする。さらに実習として血糖自己測定を実際に行う。     | 12月6日  | 准教授 岡山直司<br>名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学    |
|           | 11 | 消化管の内視鏡検査                    | X線検査では描出困難な部位や病変部の詳細な情報(微細な粘膜の凹凸や粘膜の色調変化など)を得ることができ、また生検によって確定診断が可能となる。実際の症例で解説する。                            | 12月13日 | 准教授 片岡 洋望<br>名古屋市立大学病院 内視鏡部              |
| 検査～応用コースⅡ | 12 | 脳のCTとMRI検査                   | 症例に基づいて、脳血管障害・神経変性疾患における画像検査を概説する。神経疾患患者を対象とした日常診療において、“すぐに使える有用な知識”を身につけることを目標とする。                           | 12月20日 | 准教授 松川 則之<br>名古屋市立大学大学院医学研究科 神経内科学       |
|           | 13 | めまい診療における検査と実際(実習)           | めまいは日常診療において頻度が高く、救急で遭遇する機会も高い症状のひとつである。本コースでは侵襲がなく簡便なフレンツェル眼鏡を用いて眼振所見をとり、めまいの簡単な診断・治療ができることを目的とする。           | 1月10日  | 助教 竹村 景史<br>名古屋市立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 |
|           | 14 | 婦人科領域の超音波検査                  | 婦人科領域の中でも婦人科腫瘍の超音波画像を提示し、多様に及ぶ腫瘍性疾患の特徴を紹介する。特に、卵巣癌の診断に重点を置き、手術適応の有無を判断できる能力を習得する。                             | 1月17日  | 病院准教授 荒川 敦志<br>名古屋市立大学大学院医学研究科 産科婦人科学    |
|           | 15 | 乳がんの基礎知識                     | 乳がんについて医療従事者として知っておきたい基礎知識について学習する。特に乳がんの診断方法とがんのタイプに応じた適切な治療方法について理解する。                                      | 1月24日  | 准教授 遠山 竜也<br>名古屋市立大学大学院医学研究科 腫瘍・免疫外科学    |